

ファイルシリアル転送 アプリケーション

取扱説明書

2013 年 11 月 11 日(第 1.0 版)

大電株式会社
ネットワーク機器部

目次

1.	はじめに.....	2
2.	特徴.....	2
3.	機能概要.....	2
4.	アプリケーションのインストール.....	3
5.	シリアル通信設定.....	4
6.	機能詳細.....	5
6.1	ファイルシリアル転送アプリケーションの起動.....	5
6.2	設定ファイル作成.....	5
6.3	設定ファイル送信.....	7
6.4	設定ファイル受信.....	8
6.5	log ファイル受信.....	9
7.	動作環境.....	10
8.	問い合わせ先.....	10

1. はじめに

本仕様書はファイルシリアル転送アプリケーションについて規定します。

version は 1.**に対応します。

2. 特徴

本装置は、DN5520Eシリーズ対応のシリアル通信を用いたファイル作成、転送アプリケーションです。本アプリケーションを使用することでSW-HUBの設定ファイルの作成、またシリアル通信を用いた設定ファイルの送受信、logファイルの受信を行うことが可能です。

(製品の構成)



図 2-1 アプリケーション仕様構成

3. 機能概要

シリアル転送アプリケーションは以下の機能を備えるものとします。

表3-1 シリアル転送アプリケーション機能

設定ファイル作成	アプリケーションを操作することで設定ファイルの作成が可能です。設定したい項目を入力して詳細表示ボタンを押すことで設定ファイルの内容が表示されます。その後名前を付けて保存を選択することでcfgファイルを作成します。初期値はdefaultファイルと同じに設定しています。
設定ファイル送信	シリアル通信を用いて設定ファイルの送信を行います。送信したいcfgファイルを選択し送信を行うことでSW-HUB側にファイルを転送し、ブートファイルとして設定します。
設定ファイル受信	シリアル通信を用いて設定ファイルの受信を行います。カレントファイルに設定されているcfgファイルの内容を受信し、cfgファイルとして保存することができます。
logファイル受信	シリアル通信を用いてlogファイルの受信を行います。SW-HUB側でlog -dを実行した時と同じ内容を受信しlogファイルとして保存することができます

4. アプリケーションのインストール

アプリケーションのファイルをインストールし setup.exe ファイルを実行するとアプリケーションのインストール画面が表示されます。.NET Framework2.0 以上が PC にインストールされていない場合、次の .NET Framework2.0 インストール画面が開くので画面の案内に従って .NET Framework2.0 をインストールしてください。



図 4-1 .NET Framework2.0 インストール画面

.NET Framework2.0 のインストールが完了すると次のアプリケーションセットアップ画面が表示されます。画面の案内に従って操作を行うことでファイルシリアル転送アプリケーションのインストールが完了します。インストールが終了するとデスクトップにショートカットが作成されます。

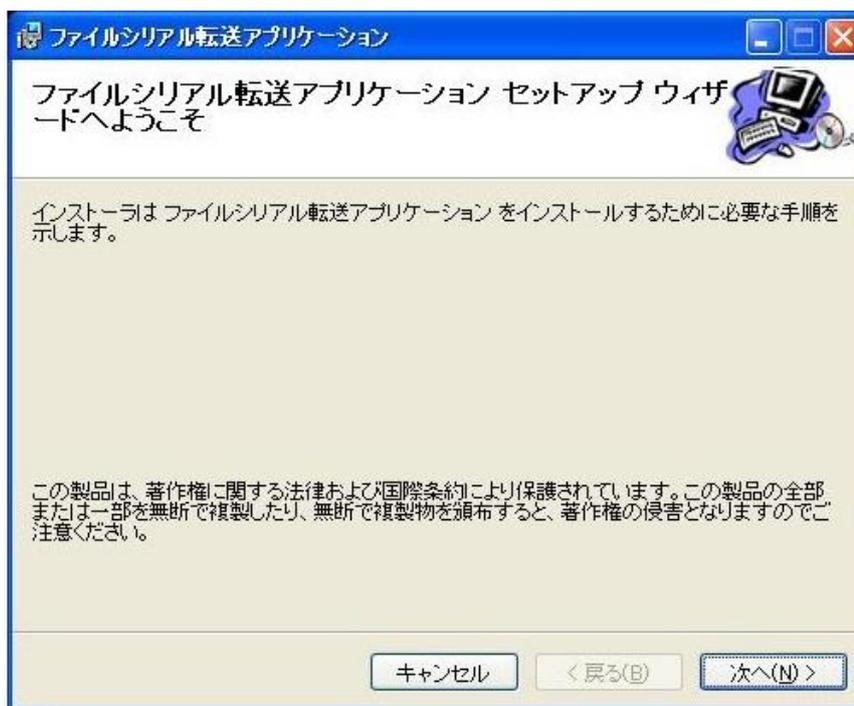


図 4-2 ファイルシリアル転送アプリケーションセットアップ画面

5. シリアル通信設定

本装置ではシリアルポートを選択する事ができます。設定タブの中のシリアル通信を選択する事でシリアル通信設定ウィンドウが表示されます。そこで使用可能なポート名が選択できるので使いたいポートを選びることができます。



図 5-1 シリアル通信設定変更



図 5-2 シリアル通信設定画面

ポート名以外の設定は変更できません。

※コンソール接続している場合、シリアルポートを重複して使うことはできないのでコンソールの接続を切断してからファイルの送受信を行ってください。

6. 機能詳細

6.1 ファイルシリアル転送アプリケーションの起動

インストールしたアプリケーションをダブルクリックすることでファイルシリアルアプリケーションが起動します。



図6-1-1 アプリ起動画面

6.2 設定ファイル作成

起動時の画面から設定ファイルの作成が行えます

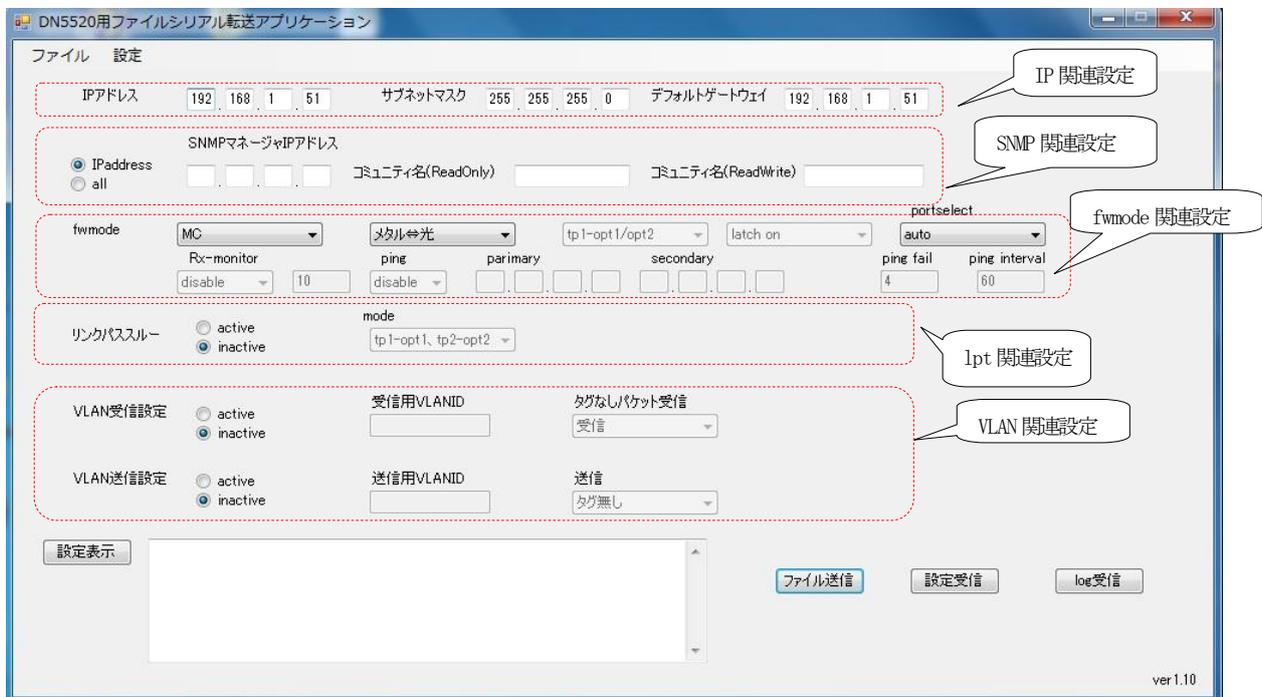


図6-2-1 DN5520E設定画面

この画面上にある項目の選択、記入により設定ファイルの作成を行うことができます。例として次の内容の設定ファイルを作成します。

- ・ IPアドレス 121.78.4.4
- ・ サブネットマスク 255.255.255.0
- ・ デフォルトゲートウェイ 121.78.4.4
- ・ SNMPマネージャIPアドレス 122.111.11.1
- ・ SNMPコミュニティ名(ReadOnly) test1
- ・ SNMPコミュニティ名(ReadWrite) test2
- ・ fwmode mcモード(光—光)
- ・ lpt tp1-opt1
- ・ VLAN受信設定 VLANID 24 タグなしパケット受信
- ・ VLAN送信設定 VLANID12

設定内容の選択、記入を行い終わったら「詳細設定」のボタンを押します。そうすると表示欄に設定コマンドが表示されます。内容が正しければ「ファイル」タブから「名前を付けて保存」を選択することで表示欄に設定された内容のcfgファイルを任意の場所に保存することができます。



図 6-2-2 設定ファイル作成

6.3 設定ファイル送信

設定ファイルをシリアル通信を用いて送信することができます。ファイルを送信するためにはファイル送信ボタンをクリックします。表示された画面に従い送信ボタンを押すとファイル選択画面が表示されるので、送信したいcfgファイルを選択してファイル送信を開始します。

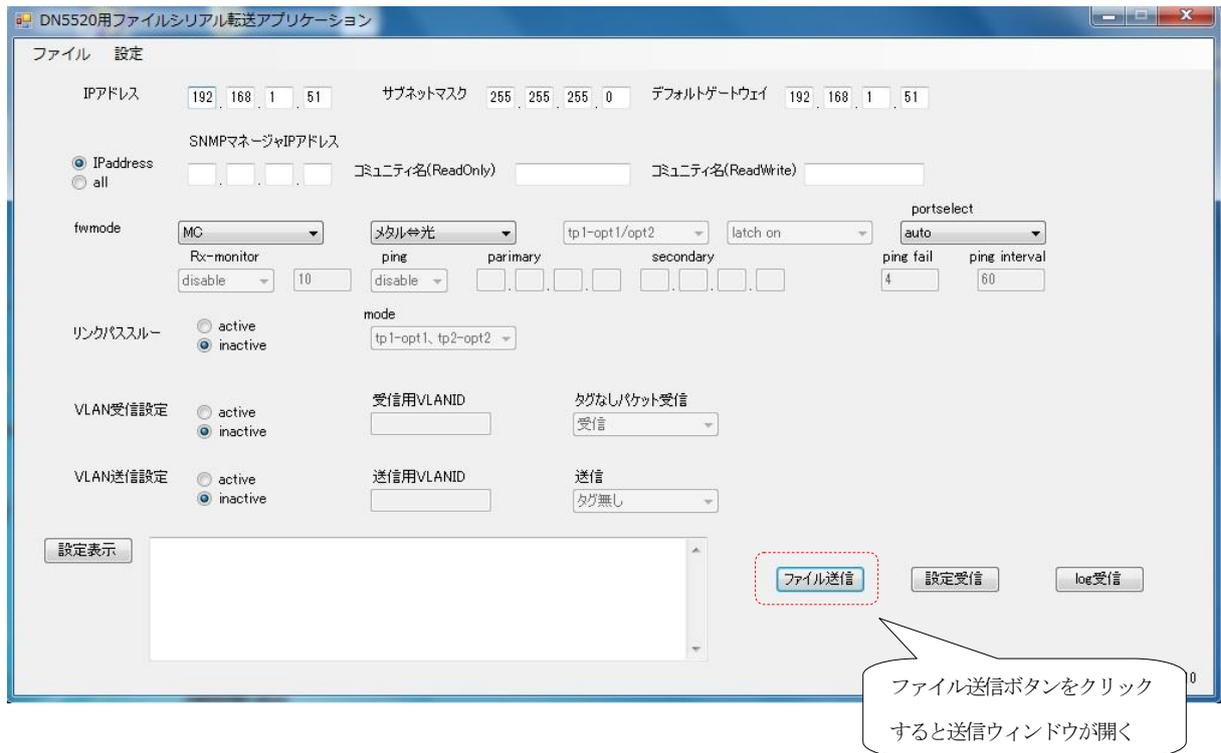


図 6-3-1 ファイル送信選択

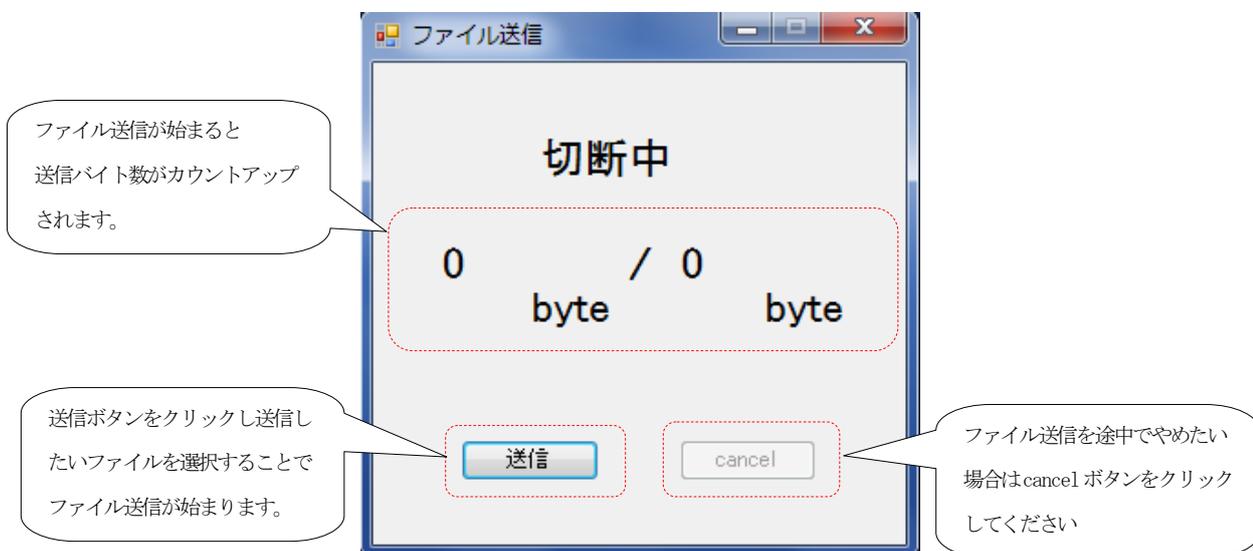


図 6-3-1 ファイル送信画面

ファイル送信が終了すると「送信完了」と表示され無事送信が終了したことを示します。送信されたファイルはSW-HUB上でxmdm_cfg.cfgというファイル名でブートファイルに設定されます。

※SW-HUB上に上限である3つのcfgファイルが登録されている場合はcfgfile -aで表示されるcfgファイルの中の一番下にあるファイルを消去しxmdm_cfg.cfgファイルを作成します。

またすでにxmdm_cfg.cfgファイルがある場合は送信したファイルで上書きされます。

6.4 設定ファイル受信

設定ファイルをシリアル通信を用いて受信することができます。この際受信する設定ファイルはカレントファイルに設定されているファイルになります。ファイルを受信するためにはファイル設定受信ボタンをクリックします。表示された画面に従い受信ボタンを押すことで設定ファイルの受信が始まります。

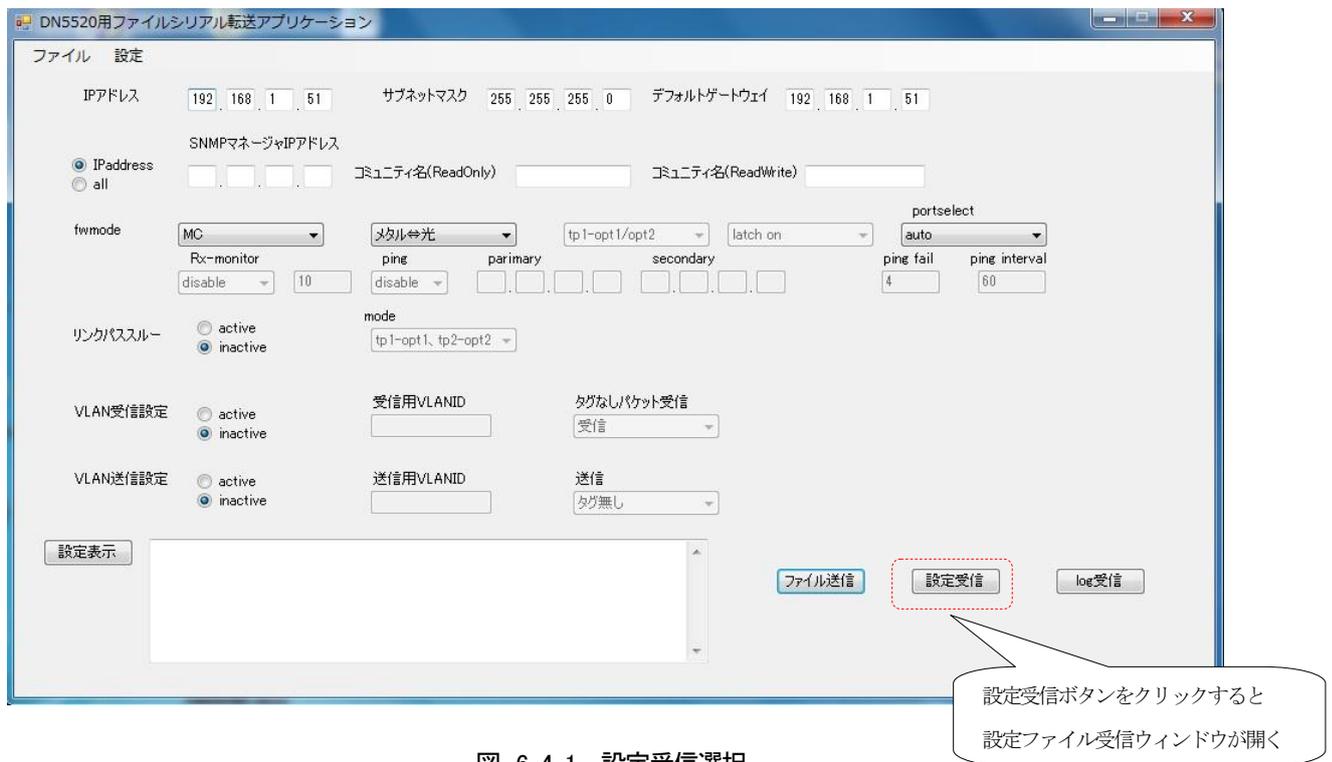


図 6-4-1 設定受信選択

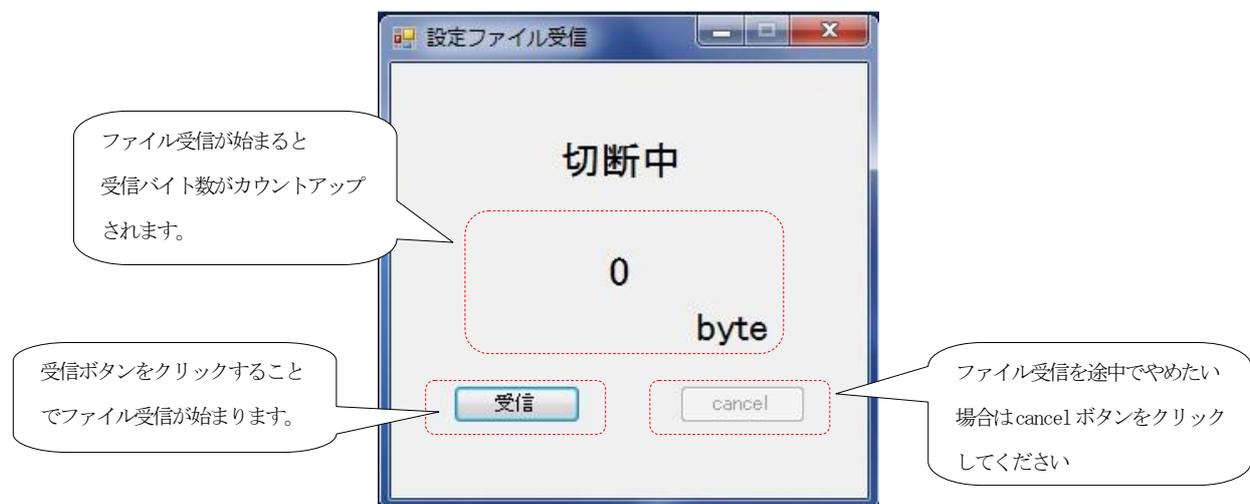


図 6-4-2 設定ファイル受信画面

ファイルの受信が終了すると「受信完了」と表示され無事ファイルの受信が終了したことを示します。ファイルの受信が終了すると保存画面が表示され任意の場所にcfgファイルを保存することができます。そのファイルを開くことで現在どのような設定になっているのかを確認することができます。

6.5 log ファイル受信

logファイルをシリアル通信を用いて受信することができます。logファイルを受信するためにはlog受信ボタンをクリックします。表示された画面に従い受信ボタンを押すことでlogファイルの受信が始まります。

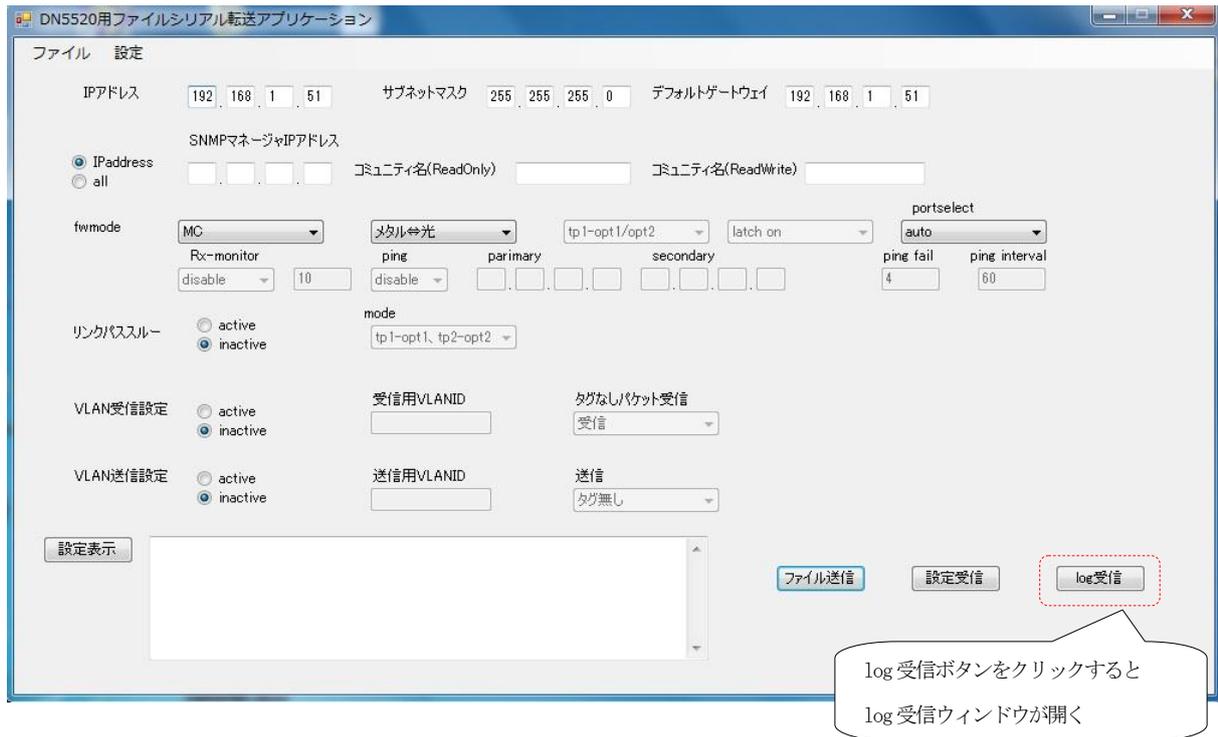


図 6-5-1 log受信選択

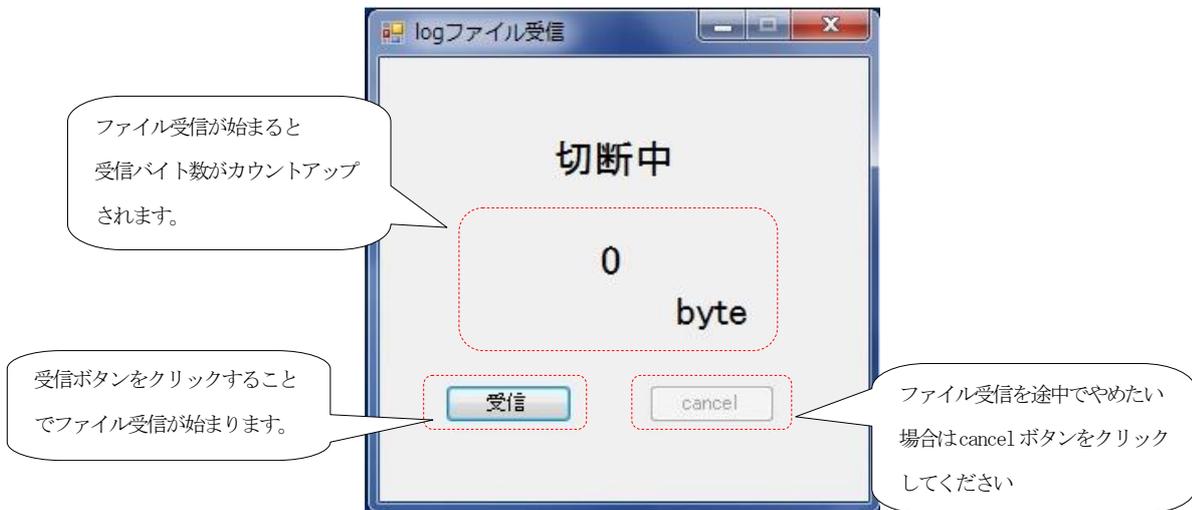


図 6-5-2 log ファイル受信画面

logファイルの受信が終了すると「受信完了」と表示されます。ファイルの受信が終了すると保存ウィンドウが表示され任意の場所にlogファイルを保存することができます。

7. 動作環境

Windows XP Professional Service Pack 3

Windows 7 Professional Service Pack 1

にて動作確認しています。

8. 問い合わせ先

『営業窓口』 大電株式会社 ネットワーク機器部 営業課

コールセンター(テクニカルサポート窓口)  0120-588-545 (携帯・PHSにも対応)

e-mail: commnio@dyden.co.jp

東 京: 〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-9 ツインビュー御茶ノ水3階

TEL (03)5684-2100【代表】

名 古 屋: 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング4階

TEL (052)211-1888【代表】

大 阪: 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-7-28 住友ビルディング2号館1階

TEL (06)6229-3535【代表】

九 州: 〒849-0124 佐賀県三養基郡上峰町堤2100-19

TEL (0952)52-8546【代表】